

新潟大学 人を対象とする研究等倫理審査委員会 オプトアウト書式

2015	研究課題名	悪性リンパ腫における可溶性 IL-2R を含むバイオマーカーと予後因子の検討
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者		
1998 年 1 月以降、2025 年 3 月までに悪性リンパ腫と当科で初回診断された患者さん		
③概要		
血清可溶性 IL-2R (sIL-2R) は悪性リンパ腫の経過観察に有用であり、保険適応のある検査項目であるが、疾患単位 (病型) により有用性が異なることが知られており、その意義は明らかにされていません。また、他の臨床的予後因子と sIL-2R を組み合わせると予後因子になることが報告されていますが、実用化された予後指標は確立されていません。 今回、過去に診断された悪性リンパ腫症例を対象に、疾患単位別の診断時 sIL-2R や $\beta 2$ ミクログロブリンなど既知のバイオマーカー値を比較・検討し、新しい予後推定モデルを確立するため本研究を計画しました。		
④申請番号		2015-2299
⑤研究の目的・意義		治療開始前の sIL-2R が予後因子になるかについて各疾患単位別に検討し、現在の標準療法 (R-CHOP 等) を行った際の予後推定モデルを確立することを目的とします。
⑥研究期間		倫理審査委員会承認日から 2027 年 3 月 31 日まで
⑦情報の利用目的及び利用方法 (他の機関へ提供される場合はその方法を含む。)		電子カルテに保存されている病歴、血液検査結果、画像検査結果、染色体・遺伝子解析結果、病理組織生検結果を利用します。使用するデータは個人が特定されないように匿名化を行い、研究に使用します。研究の成果は、学会や専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人が特定できるような情報が公表されることはありません。
⑧利用または提供する情報の項目		病歴 (年齢、性別、予後情報、治療内容)、血液検査結果、画像検査結果、染色体・遺伝子解析結果、病理組織生検結果
⑨利用の範囲		新潟大学血液・内分泌・代謝内科
⑩試料・情報の管理について責任を有する者		新潟大学医歯学総合病院高密度無菌治療部 病院教授 増子正義
⑪お問い合わせ先		新潟大学血液・内分泌・代謝内科医局 Tel: 025-368-9026 E-mail: juntaki@med.niigata-u.ac.jp